

No. 92

発行所 泉町連合区  
 発行責任者 連合区会長 野村 勲  
 事務局 (泉公民館内)  
 土岐市泉中寮町 TEL 55-3653  
 編集部長 鈴木孝之



絵手紙 ききょう  
 伊納百合子

# 泉の自治だより

題字 野村 勲

## 連合区要望事項の回答について

泉町連合区会長 野村 勲

「平成二十一年度、連合区要望事項」に対し別紙のとおり土岐市より回答がありました。

**施設の建設促進、1番**  
 について、泉児童館として大型施設(五百平方メートル以上)それに駐車場、遊園地、泉地区に一ヶ所、良いのか、用地面積は、児童館を使用する児童は十八才以下、又小学校の放課後教室の運用等あつて数量(子供の数)が予測できておりません。公民館問題の計画がまとまりしだい、次に検討に入る予定です。

**施設の建設、2番、泉公民館の建設促進について**  
 て、今年一月から三月までかけて公民館利用者、区民の声として一千五十一名の方からアンケートをいただきました。公民館担当者は皆さんの声を集約され、六月にデータとしていただき今年度役員は再三に渡り検討し九月二十五日三十二名の建設委員にご出席いただきアンケート集約結果を説明し、今後の公民館問題の方向性を示していただきました。場所は、現在地を望む、建物は増築を望み高齢者が使い易い施設を、駐車場の増設を望むとの意見で集約され、建設委員会全員の同意をいただき九月二十八日、担当部、教育委員会、生

涯学習課に区民の声として提出いたしました。今後担当課から提示されます「内容項目」について、区はその都度小委員会を設置し皆さんの声を参考に進めて行く予定です。アンケートの結果は七月末泉区、六三町内回覧板にてお知らせさせていただきますました。

**次に道路の改良、二番**  
 について、道づくり委員会の協力もあつてかなり進捗しておりますが用地補償もあつてもう少し期間が係る予定です。

**三番について、都市計画課は現在新土岐津線拡張事業整備を手かけておりその目的が付きしだいで駅北口を順次検討すると回答いただきました。**

**四番について、土岐市駅連絡地下通路防犯装置の設置につきましても、もう少し具体的にその対策について久尻区の見解を参考に結めて検討します。**

**その他、一番、乙塚古墳の雨もり防止と段尻巻古墳の土地取得について**  
 文化振興課は、他の地域で一ヶ所整備中の為年度以降に検討に入ると説明されました。地域の方はご不満かと思いますが、もう少しお待ち下さい。

## 新土岐津線整備事業始まる

道づくり委員会 土本 善久  
 実行委員長

JR土岐市駅前交差点から駅西路切交差点までの区間にわたって、平成二十五年度整備完了を目指す新土岐津線整備事業が今年度より始まりました。(新土岐津線整備について、今年度市が実施する業務は次のとおり。)

**平成二十一年度土岐市新土岐津線実施事業**

- ①土地評価業務  
 補償対象地の土地評価額を不動産鑑定士が行う鑑定価格等から算定する。
- ②補償調査業務  
 建物・物件等に対する補償額を現地調査を行うことによつて算定する。
- ③用地建物補償業務  
 土地評価、補償調査による補償額算定後、引き続き権利者との補償交渉を開始し、平成二十一年度から平成二十三年度の三年間で計画的な用地取得を進める。
- ④まちづくり活動支援業務  
 移転補償等に伴う生活再建方法や町並みづくりの検討整理、関係権利者への勉強会・相談会の開催等地域のまちづくり活動の推進を図る。

駅前地区にとつて、長年の懸案事項であった新土岐津線整備事業の着手にあつてご尽力いただき、今後新土岐津線整備に伴うまちづくり、新土岐津線全区間整備へ向けての要望活動の中心として期待される新土岐津線道づくり委員会、新土岐津線推進部会について紹介します。

①都市計画道路新土岐津線道づくり委員会  
 新土岐津線全線幅の早期実現に向け、地域の意向を集約し、事業に反映させるとともに、新土岐津線沿線のまちづくりについて提言することを目的として駅前区長を委員長とし、町内会長等をメンバーとした組織です。勉強会の開催、新土岐津線の早期整備を求める要望等の活動を行つていきます。

②新土岐津線推進部会  
 道づくり委員会の下部組織として活動しており、道づくり委員会が実施する勉強会開催や要望書の提出等の活動主体として活躍しています。

月一回のペースで部会を開催して事業推進、まちづくりなどについて話し合いながら、六月二十日市が実施した地権者説明会の開催支援、八月五日には多治見土木事務所への要望活動、現在は街並みづくりの事例研究・検討なども進められており、地域と行政の橋渡し役として意欲的に活動しています。

道づくり委員会、この名称は余り聞き慣れない名称かも知れませんが、土岐市にはこの名の委員会が二組あります。一つは県道84号線(通称土岐可児線)もう一つは国道19号線大沼交差点から中央道新丸石橋までの新設予定道路で土岐市が計画している道路です。

この二つの委員会の誕生はおよそ十年前程です。県道土岐可児線の道づくり委員会の使命は、益々増加する交通量の円滑な流れと地域住民の安全安心を基軸に置いた地域環境の充実を目標とし、県と市の計画を受けとめながら地域の地権者の方々や関係される方々のご理解を得て更に自治会等のご指導ご協力を得て目的達成に努力することが使命と考えています。

久尻地区には現在の交通現状に加えて発展的要素が少なくとも二つ以上あります。一つは久尻五斗時地域に膨大な工業団地(アクアシルヴァ)が完成し既に稼働している会社や建設中の会社も有り今後の景気情勢により社員の通勤車の増加は火を見るより明らかです。また、平成二十三年には東海環状自動車道五斗時地区にスマートインターが完成する事が決まっています。

## 泉町の道を考える

道づくり委員会 土本真津夫  
 実行委員長

以上二つの要因が更に交通量は現在に重ねて渋滞が予想されます。ここで当委員会が調査したデータ(別紙)をご覧下さい。調査方法は県道寺下地内一ヶ所と文化会館前天王池近くの二ヶ所、市、実行委員会が毎年六月に二度行い表に示したような結果が出ています。

このように一日の交通量を概算すると一万六千台余になる。この現状から考えますと、道路改修により車の流れをスムーズにするこや危険な交差点には信号機の設置と学童の通学路には歩道や歩道橋の完備が必要になります。

このようことから、道づくり委員会は既に十年に亘り県土木事務所や土岐市建設部と話し合いを持ちながら、また、大切な土地所有者とも幾度となく訪問し続けながらご理解とご協力を得て目的達成のために邁進してまいりました。

平成二十一年度現在では五斗時地域内で二百米が完成しています。続いて更に改修に取りかかっている区間もあります。天王池周辺十九号線に接続地点でもあり大きな改修工事となります。車線増や信号機の設置、歩道橋の取り替えなどで今

年度も一歩一歩事業を進めて頂くよう努力してまいります。

前述に示したもう一つの道づくり委員会の使命は国道十九号線から右折する緑が丘町の道路で以前から大変危険で死亡事故等多発地点です。この道の解決は新道路造りしか考えられず既に一応の計画立案もあり地権者から土地寄付の申し出もあり、近い将来五斗時に通じる道として期待されるの予算化を待ちながら区や連合区と共に働きかけ実現への道を手さぐりしています。

### 泉町公民館まつりについて

連合区女性部長 岩井 登代美

11月15日に連合区女性部主催の日用品バザーを行いました。

収益金(370,065円)

両公民館の運営費並びに連合区女性部の活動費に使わせて頂きます。提供頂いた皆様、お買い上げ頂いた皆様ご協力ありがとうございました。



まちづくりと云ふ名の汽車に乗って

第2弾

定林寺祭り

窯元めぐり

定林寺町まちづくり実行委員会  
委員長 大野 敏幸

この始めは、平成十四年のとき、私が区長の時に、市役所に三役と挨拶に行ったら、市長室で塚本前市長に、地域の発展の為、産業観光のモデル地区に定林寺区を指定するから、是非委員会を立ち上げて戴きたいと言った。十月に区会で街づくり委員会の設置を承認して戴き、商店主や窯元に、話しかけ、事務局を泉陶磁器工業組合内に置き、明智町で、大正村の、街づくり、御尽力された明智町の副議長さんに、講演をして戴き、これを参考にして街づくりを進め、平成十五年五月三日・五日まで、三日間で第一回をスタートしました。三日は大変と言っていて、今は二日間にして行っています。今年で、第七回を盛大に行うことが出来ました。区民やお客様に大変喜んで戴きました。今迄に、久尻の酒井さんのお陰でJRさわやかウォーキングを入れて戴き、たくさんのお客さんに、たて戴き有り難く思っています。リピーターもだんだん増え、市内外から沢山増えました。

お客さんに聞くと、こみおせず、窯元や公民館で、お茶やお菓子を戴いてゆつくり休憩が出来て有り難いと皆さんに、感謝されています。今年はある町内会で、皆の盛り

上がりてフリーマーケットをして戴きました。又こうゆうふうには、よその町内会でも参加して戴けると、うれしいです。定林寺内を、流れる川の橋の欄干には、市で造って戴いた色々なモノメントが、橋の欄干に乗っています。これも見るに楽しめ、これらから地場産業である窯元とまつりの発展を願いながら、頑張るつもりです。

笑顔と元気で  
チャレンジ!!

三年 板橋 一生  
一番に思ったことは、土岐商ショップをやったよかったです。土岐商ショップだったのでどうなるのか心配でした。予想を立てるのが難しく、どうしたらいいのか。消費者を立てたお客さんの消費が買ってもらえるか、どうやって興味をもってもらえるか、どうしたら見やすいかなど細かい所まで注意して作りました。特に自分が注意して作った所は、値段を大きく表示して、一目でいくらかわかるようにした所です。全体的に細かい字は使わないようにして、目が悪い人でも少しは見やすいように心がけました。ここの商品以外のもので、なかなか思うように進んでいかなかったら、売れる立場は簡単じゃないと改めて実感しました。



駅前商店街  
高校生が賑わい呼ぶ  
一日限定土岐商ショップ

土岐商業高等学校ビジネス科マーケティングコースの3年生が8月29日(土)一日限定で、土岐市駅前中央通り沿いに「はいつて小屋」と「ゆのみ里広場」を利用して、土岐商ショップをオープンさせた。

昨年の歳末イベントに続いて2回目の開催となり、土岐商オリジナル商品、農業高校オリジナル商品、岐阜県の名産品等を販売した。多くのお客さんが訪れ、屋前にはほ

りでしたが、慣れていくうちに余裕もでき、だんだんと落ち着いた対応ができてきました。お客様とのコミュニケーションも徐々に増え、楽しみな商品が販売することができました。野菜はピーマンとなすだけ売りましたが、なすの方が圧倒的に早く売れました。ピーマンを好んで買ったお客様が少なく大変でしたが、いつのまにかピーマンも全部売れていました。

自分たちのグループの高校商品では、ジャムが一番人気がありました。完売してから、ジャムを目的とされるお客様が、多謝罪したことを覚えておきます。それほど、高校商品の中でジャム製品は人気があり、需要の多いものだと思います。こういう経験から次は仕入数量を増やしたいという見込みが、だいたいの見当がついてきました。

しかし、炭製品は四つほど売れ残ってしまいました。炭製品は販売しても、ほとんどのお客様が手に取らないことが多く、売れ行きはあまり期待できるものではありませんでした。この結果を基にすると、炭製品を減らし、ジャムを増やすと、売上が伸びるのではないかと思います。

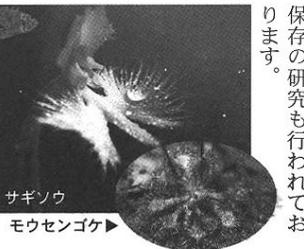
また、最後の二つになると、売れ残り商品と思われることがあり、お客様から見ると買おうという気持ちから少し遠ざかると感じます。そんな時、「限定商品」などと札をつけて陳列する工夫をして販売しました。前日の段階でPOP広告が多くなってしまったことがあったため、商品一つにつき一枚のPOP

不安がある中、土岐商ショップ当日を迎えました。開店と同時にたくさんのお客がきてくださったので少し安心してました。私は外で商品を販売しました。売れる立場になると、いろいろなお客様がいて、対応するにも売れる立場の技術が必要だと思いましたが、初めはぎこちなく、おどおどとした対応はか

P広告をA4の紙いっぱいにも強まると思いましたが、前日の準備でも陳列の際に思いついたアイデアがでてよかったです。全体を通して、お客様に對し明るく接客することができたこと、商品に合った言葉が添えることができたことはとてもよかったです。また、当日になるといつもとは違った緊張感を持ち、しっかりと動けたと思います。商品を買っていただいたときは、何よりお客様の笑顔を見ることができてよかったです。たくさんの人とコミュニケーションをとることができました。すこしい経験を通して、今後の課題も見つけたので次の土岐商ショップが楽しみです。

土岐嵐山の  
景観づくり  
久尻産業観光振興計画協議会  
川上 保男

この場所は東海環状自動車道建設工事で残石をここに運び埋め立てた土地で面積は約一萬㎡です。この広大な土地を何とか利用し地域の活性化に考えられたのが土岐ライオンズクラブの方々(平成十三年度から現在に至る皆様方)です。桜の木を植え公園化を立案されましたが土地は大部分が岩石の積み重ねで植樹には不適当な環境のため、他地から良土を搬入し桜を植え込む条件を整えようと努力された。地整備を完成されました。平成十三年度には、少しでも早く花見が出来ようとの配慮から幹囲りも六十cm程の木まで用意し大小百本の植え込み活着の為にあらゆる手を尽くしたようです。種類もヨシノ、カワツ、シダレ等今春も一応の花見



サギソウ  
モウゼンゴケ

大富山絶滅危惧種としての「シデコブシ」「湿地性植物」「木本植物」の保護活動等、地道な活動を要します。今後、大富地区は勿論の事、土岐市や地区の諸団体によって文化財として、県指定までもって行きたいものです。故郷に残されている自然や祖先が築いた文化遺産はかけがえの無い財産であり、学校教育・生涯学習を通じて郷土愛を育み、忘れがちになる魂へ

の敬意は人間性回復への道であると考えております。我々は過去に生きた人への気配りを含めて、明日へのプレゼントとして、故郷の財産を大切に保存し伝承することが命令であると考えております。

県道土岐可児線を久尻五斗町内に向かい土岐市環境センターの道に丸山橋が目に入ります。その橋の手前を左に入ると土岐嵐山の碑が在ります。

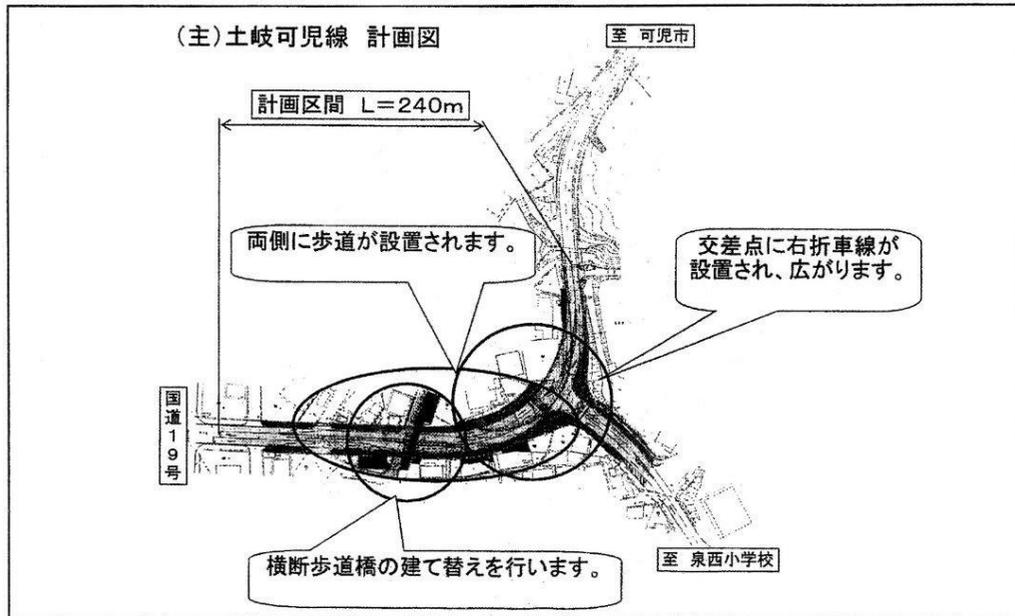
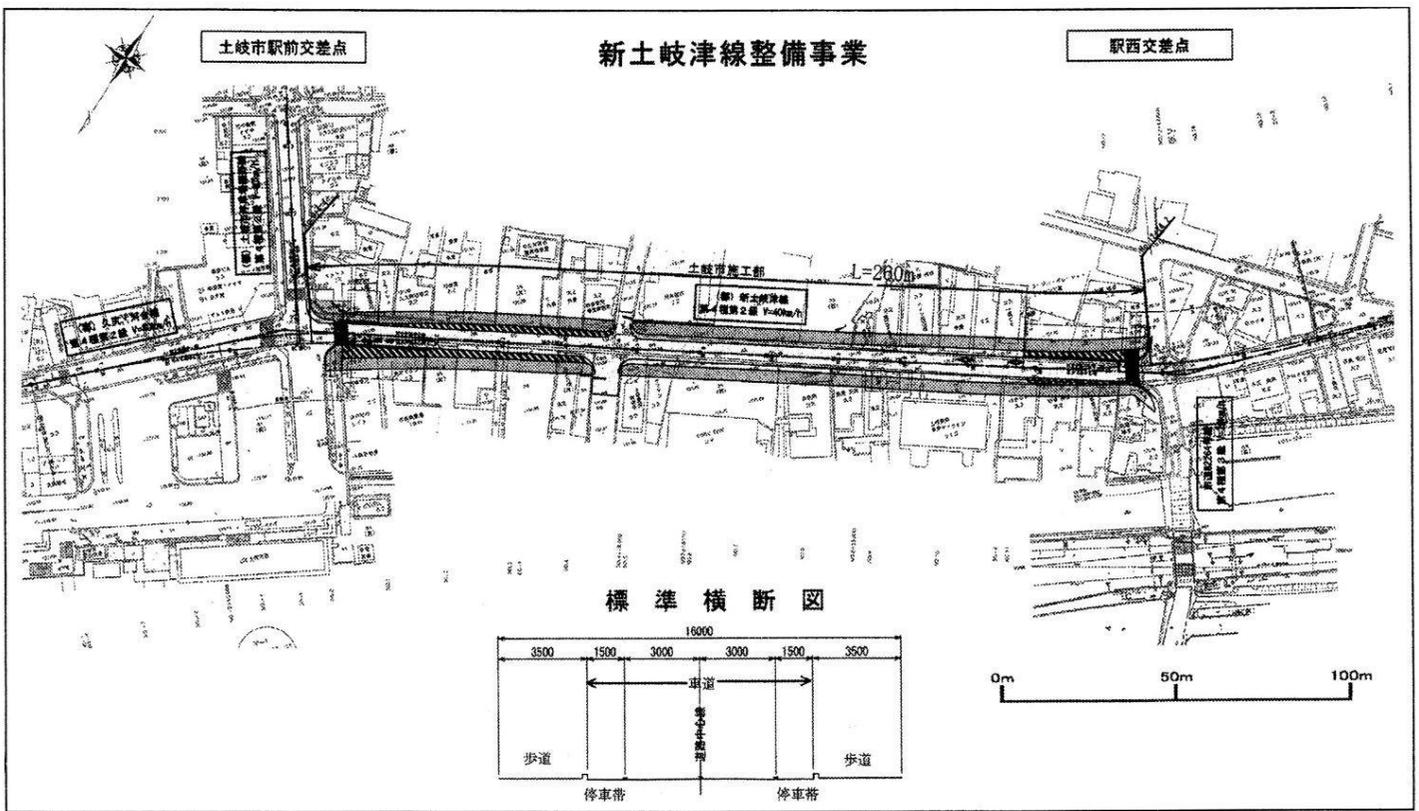
公園の与えてくれるものは人それぞれ受けとめ方の違いはありますが、安らぎ、憩い、楽しさ、癒しなどがあるかと思えます。こういった自然からの恵みは皆の財産です。皆の財産は皆で作り守っていくなければなりません。地域ぐるみで、公私に限らず公園を守り育てていくために美化運動やイベントを催せばそれに参加し、一人ひとりが積極的に美しい公園造りに汗を流してほしい。またこの嵐山の一角には久尻用水の遺跡もあります。手造りの用水路です。かつて農業用水、生活用水として深沢川から取込み永年久尻の方々は恩恵になりました。古来田に取る水路を漕(キョク)と云いまさには水は血と同じ価値と考えられたことと思われま

嵐山には自然生えのウワミズザクラと云う木が自生し春には人差し指程の桜花とは思えない形の白い花が木一杯に咲きまします。この木は天皇が即位する時に用いられる尊い木と云われています。

が出来公園の色が濃くなつて参りました。桜を主に他にも桃やユキナギ、コデマリ、レンギョウ、スイセン、ツツジなどが春を彩ります。しかしイタドリや雑草が繁茂し、桜の成長や景観を阻害します。従って土岐ライオンの管理の主軸、土岐ライオンの森林組合が中心になり、森林組合、産業観光協議会、泉久会、緑泉会、厄年会など有志のお手伝いを得ながら毎年幾度かの草刈りを行っています。

# 泉町連合区要望事項明細

事業名	番号	要望事項	継続	担当課	回	答
施設の設備 促進・維持 管理事項	1	泉児童センターの建設促進を 要望します。	○	児童課		<p>子育て支援の諸施策に対する貴自治会のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。</p> <p>泉西児童センターの建設については平成20年度の貴自治会要望から、現在の泉児童館を包括した泉町全体での泉児童センターの建設を要望いただいている旨承知いたしております。</p> <p>また、奥にある畑を駐車場にというご要望ですが、①これを実施してもなお駐車場としては十分な広さが確保できないこと、②入口から広場を横断して駐車場に侵入する位置関係になり危険であること、③安全のために進入路を整備しようとする広場の一部を削り、既存遊具を移設する等、多額の費用が必要になること等を勘案いたしますと、非常に難しいと考えます。</p> <p>現在のところ具体的な計画には至っておりませんが、安心して子育てができる環境づくりをめざし、いずれ新築や移転の必要があると認識いたしております。</p> <p>なお、子育て支援センターについては、泉町ではみつば保育園内に設置いたしております。</p>
	2	泉公民館の建設促進を要望 します。	○	生涯学習課		<p>前年に引き続き、「泉公民館建設委員会」を中心に協議を進めていきたいと考えて おります。</p>
道路の建設	1	国道19号線・池の上交差点から 中央自動車道新丸石橋間の 道路建設を要望します。	○	土木課		<p>事業規模の大きさ、道路予定地周辺地権者同意書等の課題があるため、検討させて いただきます。</p>
道路の改良 促進	1	都市計画道路（大富・高山 線）の改良	○	都市計画課		<p>都市計画道路事業の市街地での事業であり、莫大な事業費が必要となります。現在 新土岐津線拡張事業を優先して進めており、当面は現道の部分改修等で対応したいと 思いますのでご理解くださいますようお願いいたします。</p>
	2	主要地方道、土岐・可児線の 国道19号線交差点から天王池 間の道路改良事業の促進を要 望します。	○	監理用地課		<p>現在、多治見土木事務所からの委託を受け、市で鋭意用地買収を進めております。 引き続き地元のご協力をお願いします。</p>
	3	土岐市駅北広場の拡張及び大 型バス発着場の設置を要望し ます。	○	都市計画課		<p>土岐市中心市街地活性化基本計画にもあるように、駅北口地区の有効利用は重要な 施策であると認識しておりますが、現在は新土岐津線拡張事業による整備を優先して おります。順次継続して検討していきたいと思っておりますので、ご理解くださいますよう お願いします。</p>
	4	土岐市駅前広場と駅北広場連 絡地下通路の防犯装置の設置 を要望します。	○	土木課・総務課		<p>防犯装置の設置より、その管理方法に課題があり、今のところ設置できる状況では ありません。</p> <p>設置、維持管理等の詳細について連合区と調整が必要な事項がありますので、連合 区と打合せをしたうえで実施できるように検討を進めます。</p>
	5	おりへの丘団地入口の通学路 「あんしん歩行エリア」の整 備		土木課		<p>通学路の整備として白線の復旧とカラー舗装を実施予定とします。 横断カラー舗装から中央道までの約170m（北に向かって左側をカラー舗装）</p>
河川改修	1	定林寺川の早期土砂浚渫及び 護岸整備	○	監理用地課		<p>多治見土木事務所に確認しましたところ、「【検討します】定林寺川は、砂防指定 地ではありますが、流水の管理は普通河川で市の管理となります。よって、護岸整備は 市で対応願います。土砂浚渫については、過去にも実施しており、要望箇所について は、管内での緊急度を判断し検討していきたい。」とのことでした。</p> <p>市としては、護岸整備の緊急性は少ないと思われ、今のところ整備の予定はありま せん。</p>
	1	都市計画道路（県道河合・多 治見線）の見直しと変更を要 望します。	○	都市計画課		<p>都市計画道路の見直し、変更について8月5日に岐阜県と協議を行いました。一 部の都市計画道路の変更、見直しは市全体の計画路線に多大な影響を与えるため、今 後の方針として、市全体の観点から、現在、本当に必要とする交通ネットワークを検 討することとなりました。市全域からの検討となるため地元市民、周辺自治体との調 整に多大な時間を必要としますのでご理解くださいますようお願いいたします。また区画 整理地区にあたる部分は、ネットワークに影響を与えるため、区画整理事業の必要性 について地元意見を頂けますようお願いいたします。</p>
その他	1	乙塚古墳の雨漏り防止と段尻 巻古墳の土地取得について		文化振興課		<p>乙塚古墳の雨漏り対策については、石室の補修、墳丘の不透水層を設置するなどの 対策が必要です。そのためには古墳の周辺を含めた保存活用整備計画の策定が必要で あります。また、段尻巻古墳との一体の整備が望ましいと考えていますので整備計画 策定にあたっては史跡指定地の土地所有者のご協力をお願いします。なお、整備計画 策定に向けては県教育委員会、文化庁との協議調整が必要となりますので、相応の期 間が必要と考えますのでご理解をお願いします。</p>
	2	ゆのみの里広場に管理の徹底		中心市街地 整備推進室 管財課		<p>ゆのみの里広場は土岐商工会議所を通じ地域の方々への有効利用を図るため、普段 は無料駐車場として、また、夏祭りなどのイベント広場として活用いただいております。 駐車場利用に関しましては、最近、利用者のマナーの低下により出入口の鍵の破 損や広場西側の個人地への乗り入れなどが問題となり、対策措置として鍵の改修と乗 り入れ防止のためのフラワーポット（花壇）の設置を実施したところです。</p> <p>今後も商工会議所と協議しながら利用者のマナー向上の啓発や、施設方法など管理 徹底を行っていきたく思います。</p>
	3	土岐市駅東の駐輪場の電気蛍 光灯を変更していただきたい。		環境課		<p>今年度予算内で対応できるよう検討いたします。</p>



平成21年度 土岐可児線車両通行量調査総合表  
 土岐市泉町寺下地内 (中央道ガード下・天王池付近)

第1回目 平成21年6月19日(金) 午前7:30~8:30 (土岐可児線道づくり委員会調べ)

路線 種別	上り線			下り線			上・下線 総合計
	可児方面	泉が丘方面	合計	土岐方面	泉が丘19号方面	合計	
乗用車系	667台	157台	834台	534台	301台	835台	1,669台
トラック系	42台	12台	54台	34台	8台	42台	96台
特殊・ダンプ	9台	6台	15台	17台	2台	19台	34台
バイク	4台	1台	5台	11台	8台	19台	24台
21年度合計	732台	176台	908台	596台	319台	915台	1,823台

第2回目 平成21年6月26日(金) 午前7:00~8:00

路線 種別	上り線			下り線			上・下線 総合計
	可児方面	泉が丘方面	合計	土岐方面	泉が丘19号方面	合計	
乗用車系	658台	126台	784台	447台	300台	747台	1,531台
トラック系	44台	5台	49台	33台	17台	50台	99台
特殊・ダンプ	2台	5台	7台	5台	1台	6台	13台
バイク	4台	1台	5台	9台	6台	15台	20台
21年度合計	708台	137台	845台	494台	324台	818台	1,663台